



## 前期学校評価の結果をお知らせします

学校評価は、子どもたちがよりよい教育を享受できるよう、教育活動の成果を検証して学校経営の改善を目指すためのものです。学校経営の5つの重点の取組に対して、生徒・教職員・保護者アンケートの結果等を基に分析し後期の改善策についてまとめました。

※結果は、生徒と保護者のアンケートをもとにして示してあります。  
 ※数字は全回答数に対して、選択肢A(よくあてはまる)、B(まあまああてはまる)、C(あまりあてはまらない)、D(あてはまらない)の回答数を%で示してあります。  
 ※個々の判定は絶対評価とし、以下のabcdの4段階で判定します。  
 a判定(達成)・・・A50%以上、b判定(ほぼ達成)・・・A40%以上50%未満、  
 c判定(未達成)・・・A30%以上40%未満、d判定(未達成)・・・A30%未満

### ○学校経営の5つの重点1 授業力向上(確かな学力を身につけさせる)について

a判定 ②授業の始めと終わりのあいさつをきちんとしている。

b判定 ①チャイムスタートができています。

④授業中、友だちや先生の話をよく聴いている。

⑤宿題や提出物は、期限を守ってきちんと提出している。

⑨授業はわかりやすい。

c判定 ⑥今している勉強は将来に役に立つと思う。

⑦授業では、課題に対して自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。

⑧話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができる。

⑩夢や仕事について考えることがある。

d判定 ③授業では正しい姿勢を心がけている。

⑪中学校卒業後の進路のことについて、家庭で話している。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
53%	41%	4%	1%				
49%	45%	5%	2%				
44%	48%	6%	2%				
44%	37%	15%	4%	14%	42%	34%	9%
41%	52%	5%	2%	11%	62%	23%	4%
39%	42%	14%	6%				
35%	53%	9%	3%				
36%	50%	12%	2%				
34%	37%	22%	6%				
25%	54%	17%	3%				
22%	36%	27%	14%	15%	54%	27%	4%

美中生は授業の挨拶はしっかりと行えている。授業はわかりやすいについては少しずつ数値があがっている。卒業後の進路についてや夢や仕事についてなど将来につながる数値があがってきた。チャイムスタートや課題提出の意識は下がっている。また、授業中の姿勢は継続の課題である。

後期は授業中の姿勢、話を聞く態度がよくなれば学習効果につながるので引き続いて意識させます。個人懇談や進路について調べたり体験したりする機会を増やしたりして、進路学習の充実を図ります。取り組んでみたい、解決したいと思うような課題の設定を心掛け、対話的で深い学びにつなげます。授業研究を教科や学校全体で行い、わかりやすい授業づくりを行っていきます。

### ○学校経営の5つの重点2 生徒指導の充実(安心して学べる学校づくり)について

a判定 ①学校へ行くのは楽しい。

②毎日、朝食を食べて登校している。

③朝読書の時間は静かに本を読んでいる。

④部活動や地域スポーツクラブの活動に積極的に参加している。

⑥社会のルールや学校の規則を守っている。(自転車や交通ルール)

b判定 ⑤掃除はまじめに行っている。

⑦自分の健康に関心をもち、規則正しい生活を身につけている。

⑨場に応じた言葉遣いをしている。

⑩時計をみて、時間を意識して行動している。

d判定 ⑧自分のよいところを知っている。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
51%	39%	9%	1%	33%	57%	8%	1%
77%	16%	4%	3%				
72%	23%	3%	2%				
69%	22%	4%	4%	58%	34%	4%	3%
59%	38%	3%	0%	33%	61%	5%	0%
44%	49%	6%	1%				
39%	40%	18%	4%	16%	51%	27%	5%
49%	45%	6%	1%				
47%	45%	6%	2%				
27%	40%	23%	10%				

美中生は朝読書の時間に静かに取り組んだり、部活動や地域のスポーツクラブに取り組んだりすることに積極的である。ルールや時間を概ね守っている生徒が多い。掃除や言葉遣いや時間に対する意識が少し下がっている。自分のよいところを知っているという生徒の割合がまだまだ低いのが課題である。

後期は学校生活や学校行事でよい部分を認める場面を増やしたり、目標を設定し、振り返る場を工夫することで、自己肯定感が高まるように努めます。

○学校経営の5つの重点3  
心の教育の推進（いじめや不登校の未然防止）について

- a判定 ①相手思いやる言葉を使い、周りに困っている人がいたら助けたいと思う。  
②誰かがいじめや迷惑行為を受けている時、それを止めたいと思う。  
③いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。
- b判定 ④自分には悩みや心配事があるとき相談できる人がいる。
- c判定 ③先生や友達は、生徒の良いところや努力しているところを認めてくれて  
いると思う。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
50%	46%	3%	1%	26%	69%	4%	1%
52%	42%	6%	1%	25%	66%	8%	1%
70%	26%	3%	1%	48%	44%	5%	3%
47%	37%	11%	5%				
39%	48%	10%	3%	23%	67%	8%	1%

美中生はいじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている生徒が多い。「悩みや相談事があるとき相談できる人がいる」や周囲でいじめや迷惑行為を見たら、それを積極的に止めたいと思う気持ちが高い。また、自分の良いところを認められているという意識は少し下がっている。

後期は安心して過ごせる学校づくりを継続していきます。学校生活全般を通じて認め合える場面を意識し自己肯定感が高まるように努めます。相談しやすい環境づくりにさらに努めていきます。

○学校経営の5つの重点4  
生徒会活動の活性化（生徒の活動が見える学校）について

- a判定 ①学級における決められた係の仕事や委員会活動などにきちんと取り組んでいる。  
②行事に積極的に参加し、学級のみんなや部活動のメンバーと協力し合っている。
- b判定 ③学校や地域・家庭で相手も自分も笑顔になるあいさつをしている。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
58%	37%	4%	1%				
55%	40%	4%	1%	26%	46%	24%	4%
45%	43%	10%	3%	31%	54%	14%	1%

美中生は、行事への意欲がとても高く、積極的に取り組む。また、学級や委員会の仕事も前向きに取り組む生徒が多い。自分からあいさつをしようとする生徒の意識が若干下がっている。

後期は、コロナ禍ではあるが、感染対策及び形態を工夫を行い、様々な行事を成長の機会と捉え、学校・学年・学級でのつながりを深めていくことができるよう努めます。あいさつも生徒会、部活動、縦割り班の様々な取り組みを継続していき、質を高めていく努力をします。

○学校経営の5つの重点5  
家庭・地域との連携（保護者、地域の願いと自己実現）について

- a判定 ①学校の教育方針や教育内容について理解している。  
②学校は子どもや保護者の相談事によく対応している。  
③学校日より、学年日より等の配布物やホームページには、よく目を通してしている。

保護者			
A	B	C	D
12%	70%	17%	1%
23%	67%	9%	1%
18%	63%	19%	1%

家庭・地域との連携は、さまざまな行事、育友会の集まりなど機会を捉えて、教育方針・内容を訴えてきた。また、相談に対して、丁寧な対応を心がけてきた。メーリングリストの継続やホームページで生徒の様子を画像や動画でお知らせする機会を増やしたので「配布物やホームページによく目を通してしている」の数値も高い。

後期は、相談に対しては、情報の迅速な共有、適切な対応を継続します。配布物やホームページに関しては、配布時の学級での指導やメール配信を継続し、お知らせしていきます。また、ホームページで生徒の様子を今後もタイムリーにお知らせしていきます。

○学校関係者評価委員、学校評議員より

- ・判定基準がA判定のみで評価するのではなく、B判定の評価も足して分析していくべきではないか。  
→今後検討して対応していきたい。B判定も含むと肯定的評価の割合に差が出にくくなる。
- ・宿題や提出物の期限を守れない生徒が多いのでは。  
→テスト後に提出させるのではなく、テスト前に一度提出させ範囲を終わらせてからテストを受ける形をとっていく。
- ・進路学習での取り組みを教えてほしい。  
→コロナ禍のため、職場体験ができていないので、高校調べや仕事調べなど充実させ行っていきたい。
- ・自己肯定感を高めてほしい。前向きな気持ちや進路にもつながっていくので伸ばしてほしい。また、その子に合ったほめ方をしてほしい。
- いいところみつけなどの取り組みや行事を通して生徒の良さをみつけほめていく。
  - ・「誰かがいじめや迷惑行為を受けている時、それを止めたいと思う」のAB評価が94%いるが思うと実行するのは違うので、いじめや迷惑行為があった時に行動できる生徒を育ててほしい。
- 教師側の行動や言動を生徒はよく見ているので、教師がいじめやからかいを許さない姿勢を持ち、生徒が安心して生活できる明るい学校づくりを継続していく。  
学校評価の結果と学校関係者評価委員会の皆様や保護者のご意見をもとに、課題となっている項目を再検証し、学校生活がさらに向上していくように努めていきます。